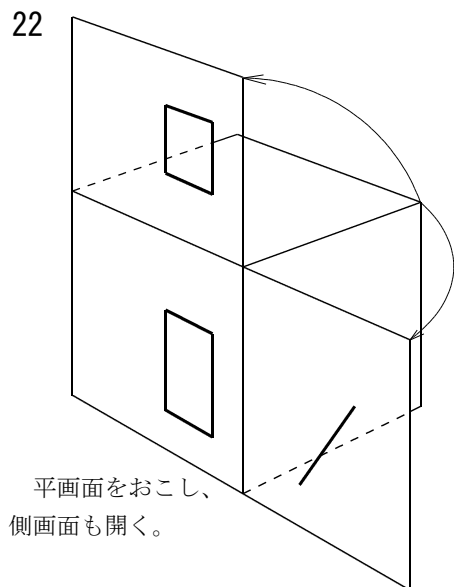
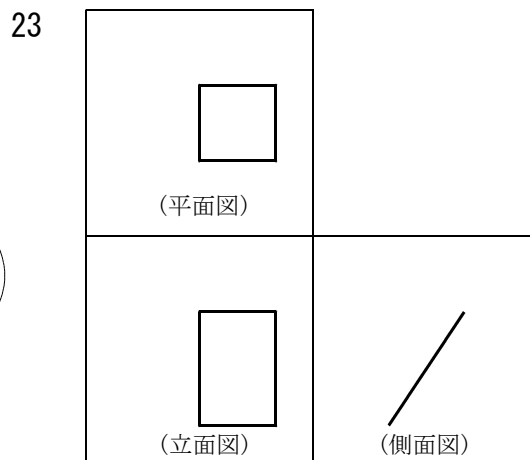


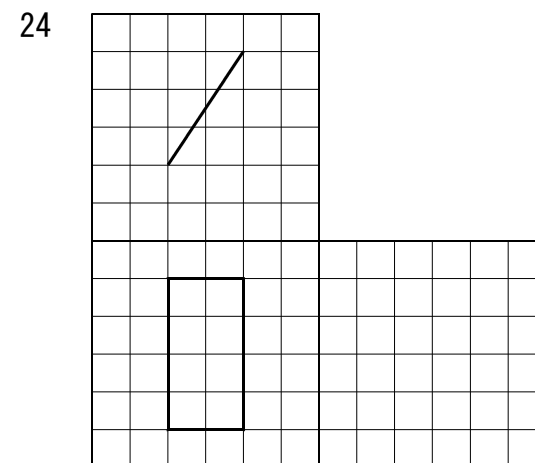
もう一つの画面(側画面)をつけ、三方向からの投影図を得る。



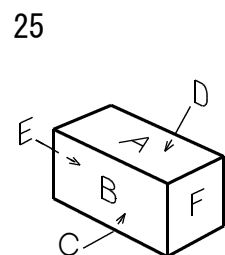
平画面をおこし、側画面も開く。



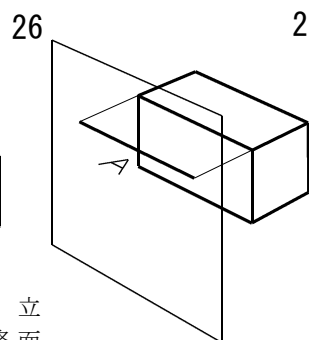
三方向からの投影図ができる。立画面の投影図を正面図、平画面のものを平面図、側画面のものを側面図という。(側画面は左側を使うこともある。)



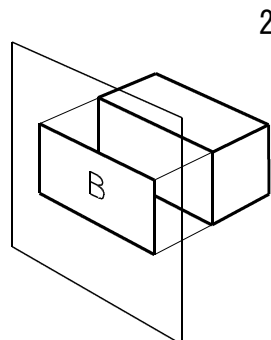
正面図と平面図から、側面図を想像し、記入せよ。



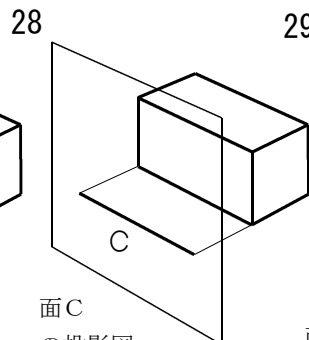
立体の投影図は、立体を構成している各面の投影図を求めることによって得られる。



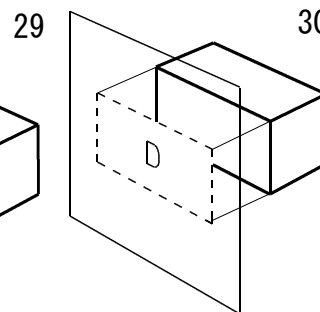
面Aの投影図



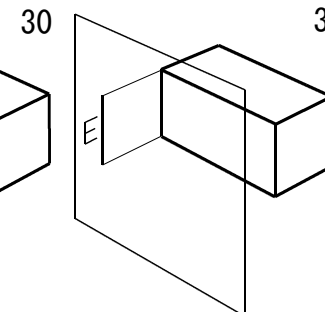
面Bの投影図



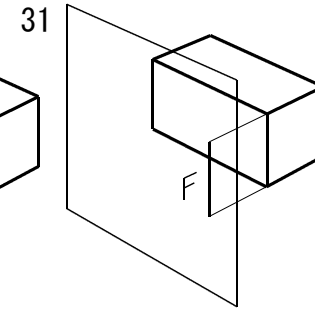
面C
の投影図



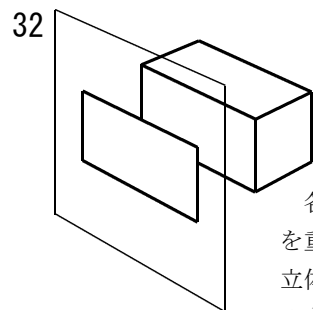
面Dのように、画面との間に他の面がある場合は、破線で表す。



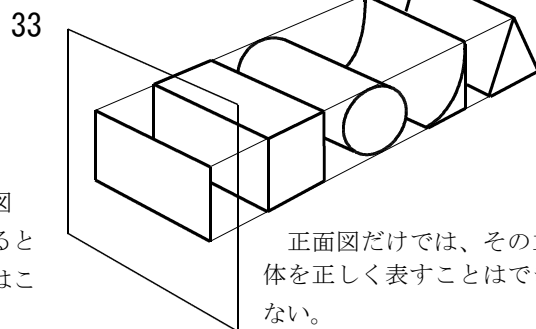
面Eの投影図



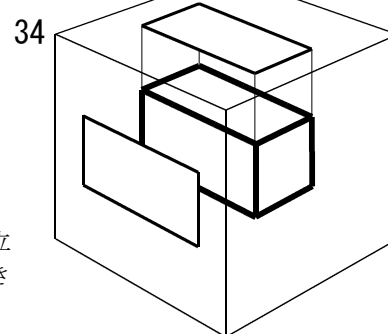
面Fの投影図



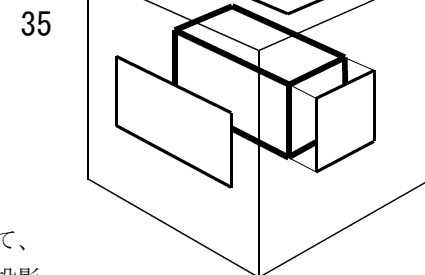
各面の投影図を重ね合わせると立体の正面図はこのようなになる。



正面図だけでは、その立体を正しく表すことはできない。



したがって、平画面にも投影図を求める。



さらに、側画面にも投影図を求める。